

Ⅲ 名古屋港周辺の防災インフラ情報(木防プロジェクト)

飛島村の防災インフラ情報

1. ハザードマップ・避難情報

- ・飛島村公式ホームページにて、洪水浸水想定区域図・高潮浸水想定区域図・減災ハンドブック(PDF)などを公開中。
- ・防災アプリ・防災メール・Xで、避難情報や災害情報をリアルタイム配信中。

2. 避難施設と防災設備

- ・公民館分館、飛島村梅之郷一時避難所などが、複数の災害に対応可能な避難場所として指定。

3. 防災計画とコミュニティ連携

- ・災害対策基本法に基づいて、飛島村地域防災計画を策

定し、各機関の役割を明確化。

- ・防災ボランティアコーディネーター養成講座など、住民参加型のネットワーク強化に取り組んでいる。

4. 電力供給と災害時対応

- ・停電時にスマートフォンなどを充電できる施設との協定を整備(ワタナビベレッジ(飛島村元起))。

5. 地形・防災背景

- ・飛島村は海拔ゼロメートル地帯が多く、標高4~8mの海岸堤防を整備。
- ・南海トラフ地震や局所豪雨への備えとして、ハードとソフト両面から対応中。

弥富市の防災インフラ情報

1. ハザードマップ・避難情報

- ・弥富市では、洪水・高潮・津波などのリスクに応じたハザードマップを公開。
- ・避難所・緊急時避難場所・非常持出品の情報も整備。
- ・最新の避難情報は「Yahoo!防災アプリ」などで確認可能。

2. 防災インフラの整備状況

- 東名阪自動車道弥富ICの活用
- ・中日本高速道路株式会社名古屋支社と協定を締結し、緊急時の避難施設を整備中(令和8年度中に完成予定)

■ 孫宝排水機場の避難活用

- ・屋上等を緊急時避難場所として活用。
- ・地元要望を受け、避難階段などを整備。

3. 地域強靱化と耐震対策

- ・地域強靱化計画により、以下のインフラを対象に整備中
- ・排水機場・海岸堤防・農業用水利施設
- ・緊急輸送道路・橋梁の耐震補強
- ・水門などの耐震化

名古屋港の防災インフラ情報

1. 防災情報の発信

- ・名古屋港管理組合公式ホームページで防災情報を掲載。
- ・所在市村の防災ガイドブックやハザードマップ(英語版含む)への外部リンク。

2. 防災施設の整備状況

- ・津波・高潮に備え、高潮防波堤・防潮壁・防潮扉・通船門及び防潮水門を整備。

3. 津波対策・訓練実施

- ・南海トラフ地震を想定した地震・津波避難誘導訓練を定期実施。

4. 港湾インフラの耐震強化

- ・飛島ふ頭・鍋田ふ頭等に耐震強化岸壁、震災時の緊急

物資輸送等に対応。

- ・老朽化対策と長寿命化計画に基づき維持管理を推進。

5. BCP・機能継続体制の構築

- ・港湾機能継続計画(BCP)を策定。
- ・燃料・資機材の確保や通信手段の多重化、緊急輸送道路の確保により、港の機能の早期回復を図る。

6. 情報共有・人材育成・デジタル活用

- ・防災情報の発信体制を整備し、情報共有を図る。
- ・防災教育・啓発活動(地震体験車、職員訓練など)を実施。
- ・ドローンや港内カメラによる被害把握の迅速化を図る。

インフラ・ライフラインなど復旧に必要な情報の提供

愛知県

各市町村や関係機関から収集した被害情報や県の災害対応・支援策について、県のホームページや各報道機関を通じて県民に提供します。

関係各機関

各機関ごとに被害情報や復旧に向けた対応を、各機関のホームページ等を通じて県民に情報提供を行います。

■ 防災・震災後の被害等全般の情報について

愛知県防災局：<https://www.saigai.pref.aichi.jp/> 地域の情報は各市町村のホームページを参照

■ 道路関係情報について

(財)日本道路交通情報センター：<https://www.jartic.or.jp/index.html>

中部地方整備局：https://www.cbr.mlit.mlit.go.jp/tsukou/t_top.html

愛知県警察：<https://www.pref.aichi.jp/police/safety/saigai/index.html>

■ ライフライン等情報について

(株)西日本電信電話：<https://www.ntt-west.co.jp/>

中部電力：<https://www.chuden.co.jp/index.html>

東邦ガス：<https://www.tohogas.co.jp/>

その他交通機関や鉄道各社はホームページにおいて運行状況を告知予定